大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F112310102468	設置等組織名	工学部工学科
大学名	麗澤大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	千葉	事業計画名	麗澤大学 学部の新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	フェーズ2-① 令和6年2月 工学部設置のため、工学部校舎新築 (この間、国研（産総研、農研機構、柏の葉アーバンデザインセンター）等との教育連携活動、多様な入学者の募集活動（高大連携を含む）、多機能自主学習フロア「iStudio」の設立準備、エドテックシステム準備などを実施する。)	フェーズ2-① 令和6年3月 工学部設置のため、工学部校舎新築 (この間、国研（産総研、農研機構、柏の葉アーバンデザインセンター）等との教育連携活動、多様な入学者の募集活動（高大連携を含む）、多機能自主学習フロア「iStudio」の設立準備、エドテックシステム準備などを実施する。)	令和5年度自己評価 【２】計画を十分には実施していない。 工期が1年とタイトであったこともあり、物価上昇による資材調達調整や猛暑による躯体工事の労務効率低下に伴い、当初予定より若干竣工が遅れたが、開講には間に合った。
令和6年度	フェーズ3-① 令和6年6月 多様な入学者の確保方法の点検と見直し戦略の立案と実施支援（初回） フェーズ3-② 令和6年10月 エドテックの点検評価と強化方法の立案と実施支援（初回）	フェーズ3-① 令和6年6月 多様な入学者の確保方法の点検と見直し戦略の立案と実施支援（初回） フェーズ3-② 令和6年10月 エドテックの点検評価と強化方法の立案と実施支援（初回）	令和6年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	フェーズ3-③ 令和7年6月 多様な入学者の確保や社会課題解決人材の継続的な育成方法の点検と見直し戦略の立案と実施支援（2回目） フェーズ3-④ 令和7年10月 エドテックの点検評価と強化方法の立案と実施支援（2回目）	フェーズ3-③ 令和7年6月 多様な入学者の確保や社会課題解決人材の継続的な育成方法の点検と見直し戦略の立案と実施支援（2回目） フェーズ3-④ 令和7年10月 エドテックの点検評価と強化方法の立案と実施支援（2回目）	令和7年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和8年度			令和8年度自己評価 リストから選択してください。
令和9年度			令和9年度自己評価 リストから選択してください。
令和10年度			令和10年度自己評価 リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価 リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価 リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価 リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和5年3月 工学部工学科設置認可申請。令和5年9月 工学部工学科設置認可。	令和5年3月 工学部工学科設置認可申請。令和5年9月 工学部工学科設置認可。	
定員減又は 学部等の廃止	定員減及び学部等の廃止は行わない。	定員減及び学部等の廃止は行わない。	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	龍澤大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
「システムエンジニア特論A・B」「システムデザイン」「グローバルエンジニア」「社会ロボティクスⅠ・Ⅱ」といった科目では、専任教員の人的ネットワークを生かし社外の技術者・ビジネスマネジャー等を講師とする特別講義を組み込む予定である。また、「課題解決型プロジェクト研究」は、大東建託賃貸未来研究所が実施している「いい部屋ネット街の住みこごちランキング」の5年分・全国80万人以上の個票データを使って自治体と連携した分析と仮説検証を行うPBL科目となっている。さらに、3年次の「プロジェクト研究A・B」および「４年次の卒業研究A・B」では、専任教員が持つ地域活動や共同研究等で関係している自治体（柏市・流山市・守谷市・水戸市・境町等）や官公庁・研究機関（茨城県庁、千葉県庁、産総研、農研機構等）、企業（日立システムズ、富士通、IBM、ソフトバンク、LINE、リクルート、ゼンリン等）との関係を生かし、課題抽出、解決策の仮説設定等を連携して行う計画となっている。	順調に計画どおりに進行している。 企業や自治体と連携した科目については、初年次のセミナーや2年次のセミナーを通じて、柏市あるいは白井市、また土浦市、さらに手塩町、平戸市などの連携自治体・企業とも連携した地域課題解決型の学生プロジェクトを実施している。こうした経験と並行しながら、「グローバルエンジニア」や「社会ロボティクス」、あるいは「未来工学」などの科目において、専任教員の人的ネットワークを活かし、社外の技術者・ビジネスマネジャー等を講師とする特別講義を組み込んだ教育を実現している。「課題解決型プロジェクト研究」等についても、計画の通り実施する予定である。3年次からスタートする「プロジェクト研究A・B」や4年次の「卒業研究A・B」についても同様である。滋賀県高島市などを対象に、他学部とも連携した文理融合プロジェクトを学生主体に実施しており、正規の講義ではないものの、学生の視野を広げ、経験を蓄積する上で、大きな貢献ができている。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

□ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
□ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
通常の指定校推薦入学試験以外に、女子校向けの指定校推薦枠を設ける予定であり、女子校向けの出張授業、学校説明会を積極的に行っていく予定である。また、高校3年生だけではなく、高校1年生から積極的に工学部の告知を行い、年間を通じたセミナー・ワークショップ等を対面、オンライン、デマンド等で実施することで、入学後の具体的な学修イメージを醸成していく取り組みを実施する予定である。さらに、系列校である龍澤中学校（千葉県柏市）、龍澤瑞浪中学校（岐阜県瑞浪市）や柏市等の龍澤大学所在地周辺での中学生に向けた理系学修に関するワークショップの実施等を検討している。加えて、保護者向けのセミナー、動画配信等を通じた大学進学、理系学部に関する理解促進の取り組みも検討する予定である。	通常の指定校推薦入学試験以外に、女子校向けの指定校推薦枠を設ける計画に基づいて、女子校向けの出張授業、学校説明会を積極的に行った。しかし、女子校のみを対象とした活動では、本学近隣地域では対象校数が限られることから、一般高校も対象とし、女子学生向けの特別入学枠を設け、入学の促進を行った。特別枠の利用者は若干名存在するものの、現在、女子学生の比率は約10%と十分ではないため、女子学生の入学支援に向けた活動を一層強化する計画である。 また、3月から9月の期間に毎月行われるオープンキャンパスの機会を捉えて、工学部の学部紹介に加え、工学部で行っている様々な活動などについて、セミナー・ワークショップ等を対面で実施した。これは高校3年生だけではなく、高校1年生までをカバーできる貴重な機会となっており、その結果、定員を大きく超える入学者を得ることができた（定員100名に対して、令和6年4月入学：150名、令和7年4月入学：137名、令和8年4月入学：103名）。 さらに、系列校である龍澤中学校（千葉県柏市）、龍澤瑞浪中学校（岐阜県瑞浪市）や、柏市等の龍澤大学所在地周辺での中学生に向けた理系学修に関するワークショップの実施等を検討し、一部実施した。具体的には、中学生および高校生を区別せずに、プログラミングキャンプを民間企業と共同で実施し、中学生の参加も得ている。 保護者向けのセミナーについては、オープンキャンパスにおいて保護者等の参加も常に多数見られており、十分な情報共有ができている。年に1回は、在学生の保護者に絞った説明会や相談会も開催している。動画配信等を通じた大学進学、理系学部に関する理解促進の取り組みについては、全学の広報活動の一環として実施しており、Webニュースや雑誌などを通じた多様な取り組みとなっている。	

大学名	麗澤大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	工学部工学科（工学関係）

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定・認可	開設																	
事業計画に定める定員		入学定員	人		100	100	100															
		編入学定員	人		0	0	0															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	100	100	100															
		入学者数	人	-	152	137	104															
		女子学生数	人	-	15	15	9															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	1	1															
	その他の学期	入学定員	人	-	0	0	0															
		入学者数	人	-	0	0	0															
		女子学生数	人	-	0	0	0															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	100	100	100															
		入学者数(B)	人	-	152	137	104															
		女子学生数	人	-	15	15	9															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	1	1															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	1.52	1.37	1.04															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	100	200	300															
		編入学定員	人	-	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	-	152	288	385															
		編入学者数	人	-	0	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	1.52	1.44	1.28															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	0	0	0															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	16	24	31															
		授業科目の単位数	単位	-	88	226	324															

大学名	麗澤大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	100	100	100															
		入学者数	人	-	152	137	104															
		女子学生数	人	-	15	15	9															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	1	1															
	その他の学期	入学定員	人	-	0	0	0															
		入学者数	人	-	0	0	0															
		女子学生数	人	-	0	0	0															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	0	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	100	100	100															
		入学者数(B)	人	-	152	137	104															
		女子学生数	人	-	15	15	9															
		社会人学生数	人	-	0	0	0															
		留学生数	人	-	0	1	1															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	1.52	1.37	1.04															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	100	200	300															
		編入学定員	人	-	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	-	152	288	385															
		編入学者数	人	-	0	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	1.52	1.44	1.28															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	16	24	31															
		授業科目の単位数	単位	-	88	226	324															

大学名	麗澤大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	600	700	700	700															
		入学者数	人	659	818	984	873															
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	0															
		入学者数	人	0	0	0	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	600	700	700	700															
		入学者数(B)	人	659	818	984	873															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.10	1.17	1.41	1.25															
	収容定員等	収容定員(C)	人	2400	2500	2600	2700															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	2485	2621	2977	3259															
		編入学者数	人	12	11	4	11															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.04	1.05	1.15	1.21															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定	開設												
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	228,813	308,430	265,965	148,948	204,889	231,753	328,937	322,190											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	233,222
本事業による助成金の額(F)	千円	755,815
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	252,118

特記事項

「１.本事業対象となる学部等の状況」「２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況」「３.大学（学士課程）の状況」の各年度編入学定員「０人」とは、「若干名」を意味している。